

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 自転車・自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 歩行中にご使用になる場合は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故などの原因となります。

⚠ 注意

- 接続されたAV機器の音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

使用上のご注意

- 使用中にイヤークラスがはずれて耳の中に残ってしまった場合は、耳に損傷を与える可能性がありますので、自ら摘出は行わず、ただちに医師の診療を受けてください。
- ヘッドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら、使用を中止してください。使用を続けると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
- イヤークラスを誤って飲み込まないように、小児の手の届かないところに保管してください。
- 冬場など乾燥した場所では、静電気により耳に刺激を感じる場合があります。
- 許容入力以上の音量を加えると、音が歪んだり、振動板を壊す場合がありますのでご注意ください。
- ヘッドホンのプラグを抜くときは、コードを引っ張らないで必ずプラグ部を持って抜いてください。
- コードをAV機器本体に巻きつけると、プラグ部のコードが断線することがありますので巻きつけないでください。
- 高温多湿な場所での放置は、故障の原因になりますので避けてください。
- 密閉型インナーイヤークラスヘッドホンは、歩行時などにコードのこすれ音や身体に伝わる音が聞こえる場合があります。
- イヤークラスに汚れが付くと、音質に悪い影響を与えます。イヤークラスが汚れた場合は、本体からはずして薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は水分をふき取ってからご使用ください。
- イヤークラスは消耗品のため、通常の使用や保存の状態でも、経年変化で劣化します。劣化によりイヤークラスがはずれやすくなり、使用中に耳の中ではずれて残る場合があります。標準のイヤークラスに劣化が見られた場合は、別売の交換用イヤークラス(EP-FX2)をお使いください。(低遮音イヤークラスはサービスパーツ扱いとなります。最寄りの販売店、またはサービス窓口にてお問い合わせください。)

お手入れ方法

ヘッドホン部

- 1 ヘッドホン本体が汚れた場合は、水に濡らした布をよくしぼって表面をふいてください。
- 2 汚れがひどい場合は、水流の弱い水道水や溜めた水で軽く濯いでください。



- 3 洗った後は、乾いた布で水分をやさしくふき取り、完全に乾いてからご使用ください。
- 4 IPX5/IPX7相当の防水処理を行っていますが、完全防水ではありません。内部に水が入る場合がありますので、右図のように乾いた布を当て、軽く振って、水分を完全に除去してください。



リモコン・コード部

リモコン、コードが汚れた場合は、水に濡らした布をよくしぼって表面をふいてください。水洗いはしないでください。

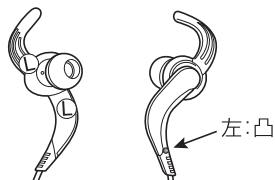
お手入れ時のご注意

- 水に浸して放置したり、水流を当て続けしないでください。
- 洗う場合はきれいな水をご使用ください。石鹸や中性洗剤、アルコールや他の化学薬品を使用しないでください。
- シンナーやベンジンなどでふかないでください。
- ブラシなどで擦らないでください。
- ドライヤーなどで乾かさしないでください。

ご使用方法

ヘッドホンを装着する

- 1 ヘッドホンの左右を確認します。(左(L側)には半円形の凸形状があります。)



- 2 イヤークラスは、お買い上げ時にはMサイズが装着されています。

サイズが耳穴に合っていないと、低音が不足したり、音漏れの原因になります。

良い音質で楽しんでいただくためにS/M/Lから最適なイヤークラスを選び、耳穴にフィットさせてご使用ください。またピボットモーションサポートの位置によってもフィット感が異なります。下図のように位置を調節してご使用ください。



イヤークラスについて

イヤークラスは、標準タイプと外部音が聞こえやすい低遮音タイプを付属しています。使用状況に合わせてご使用ください。



- 低遮音イヤークラスは外部音が聞こえやすい形状ですが、屋外で使用する場合は、周囲には充分ご注意ください。接続した機器の音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 低遮音イヤークラスを使用すると、標準のイヤークラスを使用した場合より、低音が弱く聞こえます。

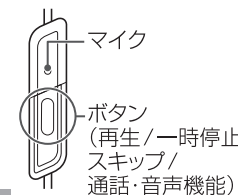
イヤークラス交換時のご注意

- 図に示すようにイヤークラスが確実に取り付けられているか、ご確認ください。
- イヤークラスが確実に取り付けられていないと、使用中にはずれて耳の中に残る場合があります。ご使用前には必ずイヤークラスが確実に取り付けられていることをご確認ください。
- イヤークラス交換時は、イヤークラスを傷つけないよう注意してください。



リモコンでスマートフォンを操作する

コントローラー部



ボタン操作の例

【音楽再生の操作】

再生または一時停止する	1回押す
次の曲にすすむ	すばやく2回押す
前の曲にもどる	すばやく3回押す

【電話の操作】

電話に出る、または電話を切る	1回押す
----------------	------

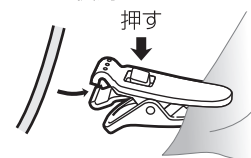
- スマートフォンの機種によって操作方法が異なります。くわしくはお持ちのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

リモコン使用時のご注意

- 本製品は、すべてのリモコン操作を保証するものではありません。
- スマートフォンの使用方法については、当社ではサポートしておりません。
- 本製品は4極プラグ対応のスマートフォン用です。φ3.5mm3極および2極のミニジャックのヘッドホン端子には対応していません。

クリップを使用する

- 1 コード保持部を押し開いて、クリップにコードを取り付けてください。
- 2 衣服などにはさみ、使用してください。



クリップ使用時のご注意

- クリップを誤って飲み込まないように、小児の手の届かない所に保管してください。
- クリップを使用する場合には、指などはさみ込みにご注意ください。

アフターサービス

修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。